

平成24年（2012年）第1回市議会定例会本会議（3月1日）

都市整備常任委員長報告

ただいま議題となりました議案のうち、都市整備常任委員会に付託されました議案第52号 土地の取得について、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、本日、会議を開き、関係理事者から案の説明を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、土地開発公社による当該土地の買入れ価格、公社の買入れ価格と市の買入れ価格との差額及びその内訳、委員会審査に必要となる適切な資料作成の必要性、買入れ後の適切な維持管理の必要性、当該土地の利用に関する早期意思決定の必要性について、であります。

次いで、討論において、小林伸行委員から、「土地開発公社の問題については、今でも法的整理をし、出資者の責任と金融機関の貸し手責任を明確化することで、横須賀市の負担削減を検討すべきではなかったかと考える。しかし、既に土地開発公社の扱いについて方向性は示されている。そのため、4200万円余りの金利分の負担が発生していることは遺憾であるものの、今後の金利負担の削減と横

須賀市が保有することにより責任をもって第5期計画による開発を抑制するため、議案第52号に賛成する。」旨の意見があり、採決の結果、議案第52号は全会一致で原案どおり、可決すべきものと決定しました。

なお、委員会審査において、一柳洋委員から適切な委員会審査を行うための資料が不足しているとの指摘があり、市の土地買い入れ価格の内訳についての資料の追加提出をもとめることとなり、委員会審査に時間を要したことを、併せて報告します。

以上で、報告を終わります。